

2019
春の
Art Collection



富取風堂

―洗練の素朴―

2019/4/20/Sat
{
2019/7/7/Sun

近代洋画の先駆者
浅井忠10
―浅井忠の洋画―
同時開催
屏風になった作品たち
―それぞれの物語―

開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 毎週月曜日(4/29※・5/6※は開館し翌日休館)
入場料 一般300(240)円/高校・大学生150(120)円
()内は20名以上の団体料金
中学生以下・65歳以上の方・障害者手帳をお持ちの方
と介護者1名は無料
なお、6/15(千葉県民の日)は入場無料となります



千葉県立美術館
Chiba Prefectural Museum of Art



第1・2展示室 春の Art Collection 富取風堂 —洗練の素朴—

温かな花鳥画で知られる大正・昭和期の日本画家・富取風堂の作品を紹介します。

富取は1892(明治25)年東京の日本橋に生まれます。松本楓湖の安雅堂塾で日本画を習ったのち今村紫紅、速水御舟らと新時代の芸術を作り出すことを標榜した赤曜会を結成。同会の解散後は、主に院展を舞台に作品を発表、評議員、監事を歴任します。1924(大正13)年に市川に移り住み、千葉県美術会の創設に参加するなど千葉県の文化振興に寄与し、1967(昭和42)年に千葉県の文化功労者に選ばれました。

「市井の画家」を自認し、あくまで身近な自然を主題として選んで描き、その画風は素朴ではのほのとするものでありながら、ひとつひとつの作品は、丹念な写生の訓練と、古今東西の美術作品の研究に裏打ちされた緻密な配慮の下に構成されます。写実を追求した大正期を経て、昭和期は日本画の洋風化に対応するように、従来の写生に色彩の鮮麗さと装飾性を加味していきました。

本展では、当館所蔵の作品を主題別に、風物、風景、魚、花、鳥、動物の6つのセクションに分けて約30点展示し、対象をみつめる画家の厳しくも温かい視線を紹介します。さらに、スケッチブックも展示し、画家の実像に迫ります。



上段左 富取風堂《葛西風景》1937
 右 富取風堂《漁村の初夏》1942
 下段左 富取風堂《漁港の朝》1950
 中 富取風堂《花》1953
 右 富取風堂《親子猿》1964

第3展示室 春の Art Collection 近代洋画の先駆者 浅井忠10 —浅井忠の洋画—

当館が所蔵する浅井忠の作品や資料を会期毎にテーマを設けて展示するシリーズ。今回は、浅井忠が手がけた洋画(油彩画・水彩画)について資料と共に紹介します。

明治維新を機に西洋文化・技術のひとつとして輸入された絵画(=洋画)が普及していく過程は、そのまま浅井の画家としての生涯に重なります。西洋文化の急激な流入から、やり戻しのように洋画排斥運動が起きるなど、洋画の黎明期に、浅井はさまざまな方法で画家として研鑽を積みながら洋画の発展と普及に取り組んでいきました。本展では、その多様な仕事ぶりを10のキーワードで紐解きながら紹介します。



浅井忠《葦屋根》1887頃 千葉県指定有形文化財(絵画)



浅井忠《漁婦》1897 千葉県指定有形文化財(絵画)



浅井忠《フォンテンブローの森》1901

第8展示室 春の Art Collection 屏風になった作品たち —それぞれの物語—

屏風には他の美術品にはない特徴的な要素があります。例えば、画面が大きく横長なので、右から左へと視線を移動させながら鑑賞します。

また、均等に区分された画面をコマ割りのように用いたり、折り曲げないと立たないため凹凸があり、描かれた絵に立体感を出すことができます。さらには用途上、基本的には背景として使われるので、人間より一回り大きく、画面の前に立つと包み込まれるような錯覚を覚えます。

本展では、このような屏風の特徴を作者がどう効果的に作品に用いているか、作品に表現された奥行きや空間、動き、ストーリー、臨場感、余韻などを鑑賞し、作者が作品を屏風仕立てにした理由を考えます。

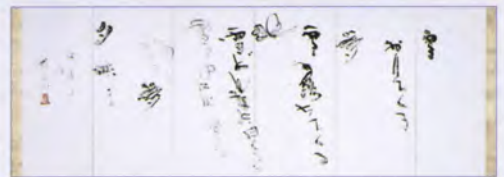
日本画・洋画・工芸・書の作品を、①画面を構成する、②中央の奥行きへ誘う、③動きが生み出すストーリー、④臨場感のある構図、⑤余白と余韻、⑥大胆な構成が生み出す装飾性、という6つの視点から紹介します。



上段左 横貫雄《春夏秋冬図屏風(春)》1931
 上段右 時田直善《望洋》1938



右 千代倉桜舟《宗左近の詩》1988



千葉県立美術館
 Chiba Prefectural Museum of Art

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1

TEL 043(242)8311 FAX 043(241)7880

http://www2.chiba-muse.or.jp/ART/

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 毎週月曜日(4/29◎・5/6◎は開館し翌日休館)

アクセス

▶電車・モノレール

JR京葉線・千葉都市モノレール千葉みなと駅 徒歩約10分

▶バス：千葉駅西口《26番のりば》

千葉みなとループバス/タワーコース

千葉ポートタワー行

「県立美術館入口(千葉みなとリハビリ病院)」

徒歩約3分

